

主な内容

- ◆9月10日は「下水道の日」…2
- ◆民生委員・児童委員を委嘱…2
- ◆二校で民間プールを利用…2
- ◆市内初・小学生に救命指導…3
- ◆いなざき獅子舞を公開…4

8月30日～9月5日は「防災週間」

防災は日ごろの備えから

防災週間は、大正12年(1923年)9月1日に発生した関東大震災にちなんで、制定された「防災の日」を含む1週間です。

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)では、地震の後に発生した津波のために甚大な被害を受けました。東日本大震災の教訓を踏まえ、みなさん一人ひとりがもう一度身の回りで起こる災害について考え、平素から災害に備えましょう。

地震発生時の行動

突然、大きな揺れに襲われたときは、周囲の状況に応じて、まず自分の身の安全を守るように心がけましょう。

▼テーパーの下に身をふせ、身の安全を確保。

▼火元までの距離が遠い・揺れが大きい場合は、揺れがおさまってから消火活動。

▼足元の割れたガラスに注意。慌てて戸外に飛び出さない。▼就寝中は枕や布団などで、頭



▼屋内にいる場合は、ドアを開けて避難口を確保

▶ブロック塀や石塀、電柱、垂れ下がった電線は危険なので離れる



▶家族で、災害時の避難場所や避難路などを話し合う



▼非常持出袋や非常備蓄品の置き場所は、常に確認しておく

地震が起きる前にできること

地震はいつ起こるか分かりません。時間帯や誰が在宅しているかなど、いろいろなケースを想定し、家族などで話し合っておきましょう。

また、想定したケースごとに役割を決めるほか、高齢者や乳幼児といった家族構成も考慮し、次のようなことも相談しておきましょう。

▼街中では持ち物で頭を保護し、公園や広い場所へ避難。

台風・大雨にも注意

昨年(2013年)は台風26号により、市内でも大雨による浸水被害、土砂災害などが発生しました。台風以外にも、ゲリラ豪雨といわれるような、河川や下水道施設の処理能力を超える豪雨の発生頻度が高まっており、特に都市部では、浸水などの被害が多発しています。

▼家具の転倒防止対策を施して落下を未然に防ぐ。

▼家の中に逃げ場としての安全なスペースを作る。

▼寝室、高齢者や子どもがいる部屋には家具を置かない。

▼安全に避難できるように、出入り口や通路には物を置かない。

▼家の中に逃げ場としての安全なスペースを作る。

▼寝室、高齢者や子どもがいる部屋には家具を置かない。

帰宅困難への備え

大規模な災害が発生すると、公共交通機関が運行を停止し、帰宅が困難になることが予想されます。しかし、十分な情報がないまま徒歩帰宅を開始するのは大変危険です。

災害時は、まず身の安全を確保し、できるだけ安全な場所に留まり、落ち着いて正確な情報を収集しましょう。

◆知っていますか「災害時帰宅支援ステーション」

千葉県を含む九都府県市では、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ガソリンスタンドなどと災害時徒歩帰宅者支援のための協定を締結しています。これらの店舗を「災害時帰宅支援ステーション」といい、災害時には水・トイレ・情報・休

●帰宅困難者心得10カ条●

- ① つくっておこう帰宅地図
- ② 歩いて帰る訓練を
- ③ 事前に家族で話し合い(連絡手段・集合場所)
- ④ 携帯ラジオをポケットに
- ⑤ ロッカー開いたらスニーカー(防災グッズ)
- ⑥ 机の中にチョコやキャラメル(簡易食料)
- ⑦ 季節に応じた冷暖準備(カップ、携帯カイロ・タオルなど)
- ⑧ 安否確認、災害用伝言ダイヤル
- ⑨ あわてず騒がず状況確認
- ⑩ 声を掛け合い話し合おう

憩場所などの提供を可能な範囲で受けることができます。

お持ちですか

「印西市総合防災ブック」

市では、地震や洪水のハザードマップと併せて災害発生時の注意点や日ごろの備えなどを掲載した総合防災ブックを昨年8月に作成し、自治会などを通じて各世帯に配布しました。お手元にお持ちでない人は市役所や公共施設で配布しておりますので、お問い合わせください。



今年も台風のシーズンを迎えました。豪雨による河川の増水や道路冠水は、わたしたちの予想を超える速さで襲ってきますが、事前の予測は可能です。普

10月19日(日)

印西市総合防災訓練を実施します

市では、市民および関係機関などと合同で、毎年総合防災訓練を実施しています。この訓練は、印西市地域防災計画に基づく「印西市直下の地震」を想定し、地域住民の防災意識の高揚や自主防災力の向上などを目的として行うものです。

今年度は、本塾中学校を会場として、次のとおり実施します。

■10月19日(日)・午前8時～正午(荒天および災害発生の場合中止)。

■本塾中学校(笠神)。

※当日は手話通訳者を配置。

■防災課防災班(☎内線453)。



▲総合防災訓練での煙体験の様子

段から道路冠水や浸水を防ぐために側溝などの清掃を行うとともに付近の危険箇所を把握し、テレビ、ラジオなどの気象情報の収集に努めましょう。

また、地震と同じように避難場所や連絡方法、非常持出品などについて、家族全員で話し合い、一人ひとりが十分な対策を考えておくことも大切です。■防災課防災班(☎内線454)。

次期中間処理施設

(新たなごみ焼却施設およびリサイクルセンター) 用地選定に関する審査結果報告会を開催

印西市環境整備事業組合用地検討委員会では、市内から応募のあった次期中間処理施設(新たなごみ焼却施設およびリサイクルセンター)の候補地4カ所(岩戸地区・滝地区・武西地区・吉田地区)と現在地(現印西グリーンセンター)の計5カ所の候補地を三段階の審査を経て、比較評価により順位付けを行いました。

つきましては、印西市地区全体を対象とした「審査結果報告会」を次のとおり開催します。

■9月28日(日)・午後1時～。 ※2時間程度。

■印西グリーンセンター3階大会議室(大塚)。

■構成市町(印西市・白井市・栄町)の住民。

※次期施設に関する情報は、組合ホームページにも掲載しています。

■印西市環境整備事業組合印西グリーンセンター用地検討委員会事務局(次期施設推進班内) ☎27-34-4661 <http://www.w.inkan-jk.or.jp>。